



西宝橋上下で大規模な瀬変えと仮設道路工事

リバーサイト住宅跡地（廃村）



西宝橋から上流側（中央は大多田川合流点）

西宝橋下流側の瀬変え工事の様様。



景観喪失した武田尾温泉区域

お店が戻って来た武田尾住宅区域

下流では南部橋架け替え工事、中流の生瀬西宝橋を中心に大規模な瀬変え工事が行われ同時に道路付け替えに伴う仮設道路工事も続けられ、176号線と有馬街道分岐点で行われていた仮設橋梁も完成し有馬方向へ向かう車や176号線の通行量が多く、生瀬から武田尾峡谷ハイキング道へ向かうハイカーには厳しいコースになる。

無人のリバーサイト住宅は草に覆われ現代の廃村の様相を示し、草むらから覗く基礎がかって人が住んでいたことを物語る。住宅街より一段高くなった田んぼでは秋の刈り入れも終わり、昔ながらの閑静な田園風景が心を和ませる。

大規模な工事が行われている西宝橋付近の河原の堆積土砂が撤去されると普通の礫床に戻ると思うが、拡幅工事が行われると単調な人工護岸になると想像すると河原は自然を取り戻し人工護岸が自然の風景を損ねるだろうが、安全を考えると受忍限界内と納得すべきなんだろうか。道場遊水地、武田尾温泉地区・住宅地区の嵩上げ、僧川の直線化工事、宝塚SAなど景観を大きく変える大規模工事が続いた。時が経てば人工護岸にもコケが付き、それなりの風景になるのと思うが、昔を知る者は景観喪失甚だしいと思うが安全のための代償と納得すべきなんだろうか。